

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○那覇港物流機能の強化
主な取組	那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱可能貨物量
施策の方向	<p>・国際海上コンテナ輸送の中継拠点（サブハブ）として、高規格・高能率コンテナふ頭をはじめとする国際流通港湾機能の拡充を図るため、順調に取扱貨物量が増加している内貿貨物や着実に増加してきている外貿貨物に加え、那覇空港との連携によるシー・アンド・エア等の多様な輸送経路確保に伴う積み替え貨物の増加等、取扱貨物量の更なる増加等に対応した外内貿ふ頭の再編・強化や那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期等の関連施設の整備を推進するとともに、港湾機能の高度化に係る技術の導入等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
積み替え貨物の増加等に対応した那覇港総合物流センターの整備(総合物流センター建築工事)に取り組む。	那覇港管理組合	積み替え貨物の増加等に対応した那覇港総合物流センターの整備(総合物流センター建築工事)		
		総合物流センター建築工事		
		企業調査	公募、SPC特定	事業契約締結
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	港湾建設関連諸経費			予算事業名	港湾建設関連諸経費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
市町村	委託		712	主な財源	実施方法	当初予算額
				市町村	委託	11,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
物流センターの需要確認のため企業調査を実施した。				調査結果を踏まえ公募要件等を検討する。		

活動指標名	総合物流センター建築工事		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	企業調査	企業調査	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍の影響により、令和3年度までは企業ヒアリングが困難な状況であったが、令和4年度からは企業調査が可能となり、需要確認を実施するという目標を達成できたことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	調査に基づき、物流センターに関心が高い企業を判別し、更に聞き取り調査を行い回答の精度を高め需要の確認が行えた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	民間活力を導入し、官民協同で整備する事業スキームが前提となるため、民間事業者の需要・意見等と施設の目的とのすりあわせが重要と考える。	⑧ その他	企業調査等による民間事業者の意見等を踏まえた、民間事業者が参画しやすい公募要件の検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○那覇港物流機能の強化
主な取組	那覇港物流機能強化事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱可能貨物量
施策の方向	<p>・国際海上コンテナ輸送の中継拠点（サブハブ）として、高規格・高能率コンテナふ頭をはじめとする国際流通港湾機能の拡充を図るため、順調に取扱貨物量が増加している内貿貨物や着実に増加してきている外貿貨物に加え、那覇空港との連携によるシー・アンド・エア等の多様な輸送経路確保に伴う積み替え貨物の増加等、取扱貨物量の更なる増加等に対応した外内貿ふ頭の再編・強化や那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期等の関連施設の整備を推進するとともに、港湾機能の高度化に係る技術の導入等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
岸壁、各ふ頭の機能再編の実施等の港湾施設の整備に取り組む。	国,那覇港管理組合	岸壁、各ふ頭の機能再編の実施等の港湾施設の整備		
		岸壁・物揚場、機能再編等の整備		
		港湾計画改訂	岸壁整備に係る調査・設計	岸壁整備に係る調査・設計
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	港湾建設関連諸経費			予算事業名	国直轄	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
市町村	委託	32,087	42,966	主な財源	実施方法	当初予算額
				国直轄	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇港港湾計画の改訂を行った。				国において、新規事業として採択された、新港ふ頭14号岸壁の整備を行う。		

活動指標名	岸壁・物揚場、機能再編等の整備		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		港湾計画改訂に向けた調整	港湾計画改訂に向けた調整	港湾計画改訂	港湾計画改訂	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

達成割合が100%であるため、「順調」と判定した。
 国等の関係機関との調整等を密に実施したことにより、令和4年度内に那覇港港湾計画を改訂することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
国等の関係機関との調整を密に実施し、令和4年度以降における早期の港湾計画改訂に向けた取組を進める。	国等の関係機関との調整を密に実施し、令和4年度内に港湾計画を改訂することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等、多くの関係者との調整・連携が必要。	② 連携の強化・改善	岸壁等の既存施設の使用状況を踏まえた施工計画など、国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等と、調整を密に実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○外貿貨物量の増大
主な取組	国際海上物流システム機能強化事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱可能貨物量
施策の方向	<p>・課題となっている片荷輸送の解消や高い海上輸送コストの低減については、物流効率化のための施設整備や集貨・創貨の取組により外貿貨物増大による物流コストの低減を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
効率化を図る荷役機械など、国際流通港湾機能をも高める施設及び設備の整備に取り組む。	県,那覇港管理組合	効率化を図る荷役機械など、国際流通港湾機能をも高める施設及び設備の整備		
		荷役機械や上屋等の設備整備		
		基本方針検討	調査・設計業務	モニタリング調査・工事
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	港湾建設関連諸経費			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
市町村	委託	4,884	11,396	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇港管理組合により、那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱貨物増大に向け、コンテナターミナルの機能強化の基本方針等の検討を行った。				那覇港管理組合において、令和4年度に検討した基本方針等を基に必要予算の確保に取り組む。		

活動指標名	荷役機械や上屋等の設備整備		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-	-	基本方針検討	基本方針検討	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

達成割合が100%となったため、取組は順調と判断した。
基本方針検討を行ったことにより施設整備の必要性や優先度が整理され、予算要望に向けた基礎資料とすることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点」を目指し、那覇港公共国際コンテナターミナルにおける港湾機能の高度化や物流効率化のための施設整備について、基本方針検討を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	基本方針検討を行ったことにより施設整備の必要性や優先度が整理されており、これを踏まえた必要予算確保が課題である。	① 執行体制の改善	那覇港管理組合において、令和4年度に検討した基本方針等を基に必要予算の確保に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○外貿貨物量の増大
主な取組	創貨・集貨の取組強化		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱可能貨物量
施策の方向	<p>・課題となっている片荷輸送の解消や高い海上輸送コストの低減については、物流効率化のための施設整備や集貨・創貨の取組により外貿貨物増大による物流コストの低減を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
コンテナで輸出する荷主を対象に、輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験に取り組む。	県,那覇港管理組合	コンテナで輸出する荷主を対象に、輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験		
		那覇港輸送効率化支援事業等の参加企業による貨物量増加(累計)		
		10TEU	190TEU(200TEU)	200TEU(400TEU)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国際物流関連産業推進費			予算事業名	国際物流関連産業推進費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
市町村	補助		20,896	主な財源	実施方法	当初予算額
				市町村	補助	25,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇港管理組合において、コンテナ輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を行った。				那覇港管理組合において、コンテナ輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を行った。		

活動指標名	那覇港輸送効率化支援事業等の参加企業による貨物量増加(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	20TEU	10TEU	100.0%	順調	コンテナで輸出する荷主を対象に、輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度の貨物量増加分は20TEUと、目標値の10TEUを上回っていることから、取組は順調と判断した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点」を目指し、貨物増大および物流コストの低減に向けた取組を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	実証実験の参加企業より、実証事業内容で一部利用しにくい部分があるという意見があったため、見直しを検討する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	事業参加者の意見も踏まえ、利用しやすい実証事業内容へ見直しを検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策の強化
			施策の小項目名	○片荷輸送の解消の促進
主な取組	国際海上物流ネットワークの強化		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路(海外)寄港地数
施策の方向	<p>・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県外・国外主要港とのネットワーク拡充に係る調査、新たな航路を誘致し、県産品を海外へ輸出する仕組みを構築するための実証実験を行う。</p>	<p>県,那覇港管理組合</p>	<p>県外・国外主要港とのネットワーク拡充に係る調査、新たな航路を誘致し、県産品を海外へ輸出する仕組みを構築するための実証実験</p>		
		<p>那覇港輸出貨物増大促進事業の実施</p>		
		<p>実証実験</p>	<p>1寄港地誘致</p>	<p>モニタリング調査</p>
<p>担当部課【連絡先】</p>	<p>土木建築部港湾課</p>	<p>【 098-866-2395 】</p>	<p>関連URL</p>	<p>https://nahaport.jp/</p>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	輸出貨物増大促進事業 (ソフト)			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	23,000	32,900	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇港管理組合において、輸出貨物増大促進事業により新規航路就航や航路再編のための実証事業を実施した。				輸出貨物増大促進事業の結果を踏まえ、荷主等へのヒアリング等により輸出入ニーズを把握し、ニーズに応じた新たな船社支援スキームを検討する。		

活動指標名	那覇港輸出貨物増大促進事業の実施		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	実証実験等の実施	実証実験等の実施	実証実験	実証実験	100.0%	順調	那覇港管理組合により、新規航路就航や航路再編のための実証実験を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

寄港地誘致に向けた実証実験を実施し、目標の達成割合が100%となったことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・那覇港管理組合、那覇国際コンテナターミナル(株)及び関係機関の連絡会議体制を検討するとともに、国際コンテナターミナルの改善・高度化、感染症影響下の貨物量の維持・増加の取組を検討する。	・那覇港管理組合、那覇国際コンテナターミナル(株)及び関係機関において、定期で連絡会議を開催し、貨物量の維持・増加の取組等を検討した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	船社による新たな寄港地誘致のためには、荷主等の輸出入ニーズを把握する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	荷主、フォアダーへのヒアリング等により輸出入ニーズを具体的に把握し、ニーズに応じた新たな船社支援スキームを検討する。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	荷主等の輸出入ニーズに応じた新たな船社支援スキームを検討する必要がある。		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策の強化
			施策の小項目名	○片荷輸送の解消の促進
主な取組	県外・国外港等との連携強化		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路(海外)寄港地数
施策の方向	<p>・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
物流に関する交流を促進させるため、県外・国外港の管理運営者との間で長期的な連携関係の強化に向け取り組む。	県,那覇港管理組合	物流に関する交流を促進させるため、県外・国外港の管理運営者との間で長期的な提携関係の強化		
		パートナーシップ港との合意書(MOU)の締結		
		市場調査、関係機関調整	市場調査、関係機関調整	現地ポートセールス、意向調査
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
物流ニーズなど市場調査および関係機関調整を実施した。				引き続き、物流ニーズなど市場調査および関係機関調整を実施する。		

活動指標名	パートナーシップ港との合意書 (MOU) の締結		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-	-	市場調査、関係機関調整	市場調査、関係機関調整	100.0%	順調	物流ニーズなど市場調査および関係機関調整を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

物流ニーズなど市場調査および関係機関調整を実施したことで、目標の達成割合が100%となったことから、取組は順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	那覇港における新たなパートナーシップ港について、幅広く調査しているところである。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	合意書(MOU)を締結するには物流ニーズを捉える必要がある。	② 連携の強化・改善	輸出入ニーズを荷主等へヒアリングを行い、関係機関の物流に関する取組状況等を把握する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策の強化
			施策の小項目名	○片荷輸送の解消の促進
主な取組	航路の新設・拡充（中城湾港新港地区）		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路（海外）寄港地数
施策の方向	<p>・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
中城湾港新港地区の航路の新設・拡充に向け、実証実験を行う。	県,市	産業支援港湾としての機能強化・拡充を図るための、航路新設に向けた実証実験の実施		
		実証実験の実施		
		新設航路調査検討	航路実証実験(1航路)	航路実証実験(1航路)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	中城湾港新港地区物流機能高度化等推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
市町村	委託			主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	45,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度はうるま市の国際物流トライアル推進事業にて、博多航路の実証実験(調査検討)を行い、中城湾港に立地する企業のニーズを確認した。				令和5年度からは、博多航路の定着を目的とした、沖縄県による実証実験に移行する予定。		

活動指標名	実証実験の実施		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	-	新規航路調査検討	新設航路調査検討	100.0%	順調	うるま市の国際物流トライアル推進事業にて、博多航路の実証実験(調査検討)を行い、中城湾港に立地する企業のニーズを確認した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は、うるま市の国際物流トライアル推進事業にて、博多航路の実証実験(調査検討)を実施したことで、目標の達成率が100%となったことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	令和5年度からの博多航路の定着を目的とした沖縄県による実証実験に移行するため、うるま市と意見交換を行いながら、予算要求を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	海上物流サービスの拡充に必要となる上屋やモータープール整備の財源の確保が必要。	① 執行体制の改善	モータープールの整備にかかる予算確保に向け、必要性を整理する。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	国が実施予定の中城湾港 (新港地区) 東ふ頭岸壁延伸に向けた予算の確保が必要。	② 連携の強化・改善	事業の促進を図るため、国に対し早期整備等の要望を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	那覇空港自動車道の整備		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本島中南部・北部の各拠点の地域振興の支援、物流の効率化及び交通混雑の緩和を図るため、那覇空港自動車道(小禄道路)の整備を行う。	国	小禄道路の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011473

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	道路交通円滑化改築 (国道506号)				予算事業名	道路交通円滑化改築 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額	
					国直轄	その他		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
<p>国は、小祿道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。</p>					<p>国は、小祿道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。</p>			
予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道506号)				予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額	
					県単等	負担		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
<p>県は、国の小祿道路の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し、当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。</p>					<p>県は、国の小祿道路の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。</p>			
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		<p>国は、小祿道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要望を2回（5月、11月）行った。</p>	
	整備の実施	整備の実施	2回	2回	100.0%	順調		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、小祿道路の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	沖縄西海岸道路の整備		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
中南部圏域西海岸の地域拠点、広域交流拠点、高規格幹線道路を相互に連絡し、物流の効率化、交通渋滞の緩和を図るため、沖縄西海岸道路(読谷道路等)の整備を行う。	国	読谷道路、浦添北道路、那覇北道路等の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011475

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	道路交通円滑化改築事業 (国道58号)				予算事業名	道路交通円滑化改築事業 (国道58号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額	
					国直轄	その他		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。					国は、読谷道路等の整備を行う。県は、当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道58号)				予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道58号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額	
					県単等	負担		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。					県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を確保する。さらに、県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。	
	整備の実施	整備の実施	2回	2回	100.0%			

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、読谷道路等の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。</p>	<p>県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	那覇港臨港道路整備事業		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
臨港道路若狭港町線の整備促進に向けた、国への要望活動	国	臨港道路の整備			
		整備促進に向けた港湾管理者から国への要請回数(累計)			
		2回	2回(4回)	2回(6回)	
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	港湾建設関連諸経費			予算事業名	港湾建設関連諸経費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
市町村	直接実施			市町村	直接実施	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」及び「全国港湾知事協議会」にて、臨港道路若狭港町線の整備促進等、国への要望を行った。				「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」及び「全国港湾知事協議会」にて、国への要望を行う。		

活動指標名	整備促進に向けた港湾管理者から国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-	-	2回	2回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

達成割合が100%であることから、「順調」とした。
国への要望活動を継続的に実施することで、臨港道路若狭港町線の整備促進を図る。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	要望の際の説明資料について、要望内容が簡潔かつ確実に伝わるよう、掲載する図や写真等のレイアウトの工夫や根拠データ等の厳選など、わかりやすい資料作成に取り組んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	社会的な状況の変化を踏まえ、整備促進の必要性を示す必要がある。	⑧ その他	取扱貨物量の増加等、社会的な状況の変化を把握し、整備促進の必要性が伝わるよう、要望活動に取り組む。